

韓日英トライリンガル生徒の 優勢言語・思考言語・言語間転移と言語環境との関係

森山 新

要 旨

日韓バイリンガル環境で生まれ、英語を習得しつつある韓日英トライリンガル生徒の優勢言語（言語能力）と言語間転移や思考言語（言語運用）について、置かれた言語環境との関わりの中で考察した。本研究で明らかになったことは以下のような点である。

- ①優勢言語について：Tの優勢言語は韓国語である。これは出生時の言語環境ではなく、成長時の家庭的、社会的、教育的言語環境の影響で決定されたものである。このことは社会的な言語環境が母語と異なる場合に、家庭的、教育的な言語環境を整えないと母語を喪失する危険性があることを示唆している。
- ②思考言語について：思考言語は置かれた言語環境の影響を受け、常に優勢言語と同じになるとは限らない。言語環境の影響が少ない場合には優勢言語が思考言語になる。またバイリンガルはモノリンガルに比べ、安定した1つの優勢言語を持っていないため、置かれた言語環境の影響を受けて思考言語が変化しやすい。
- ③母語である両語の言語運用について：言語間の誤用（転移）は思考言語と表出言語が異なる場合に起きやすく、思考言語から表出言語へ転移が起きやすい。常に優勢言語から非優勢言語に起きやすいのではない。

【キーワード】 トライリンガル(マルチリンガル)、言語環境、転移、言語能力、言語運用

1. 研究目的

本稿では日韓バイリンガル環境で生まれ、英語を習得しつつある韓日英トライリンガル生徒の言語能力と言語運用について、置かれた言語環境との関わりの中で考察する¹。具体的には、以下の点を明らかにする。

- ①優勢言語について：2つの母語のうち、この生徒の優勢言語はどちらであるのか、また、それはどのように決定されるのか。
- ②両語の言語運用について：母語である韓日両語は言語運用においてどのように関わり合っているのか。具体的には、両語間の言語間の誤り（転移）はどのように起き、それは置かれた言語環境によりどのように変化するのか。
- ③思考言語について：学習者の思考言語は、常に優勢言語であるのか、それとも置かれた言語環境の影響を受けて変化するのか。

なお本稿で用いる「優勢言語」、「思考言語」、「表出言語」という3つの用語について若

¹ 本稿では、二言語または三言語を併記する際に、優勢な言語から先に記載することにする。例えば「日韓」

干の説明を加えておく。「優勢言語」とは、「言語能力 (language competence)」において優勢な言語を指す。言語能力であり、習得により徐々に変化するものであることから、言語環境の影響は比較的少ないと思われる。これに対し、「思考言語」と「表出言語」とは、「言語運用 (language performance)」において用いられる言語で、思考や概念化などの際に用いられる内的な言語を「思考言語」と呼び、作文や発話の際に用いられる外的な言語を「表出言語」と呼ぶことにする。こちらのほうは言語運用であるため、周囲の言語使用に影響を受けやすいと思われる。

2. 先行研究

バイリンガルの母語間の言語転移や第三言語の習得研究としては、Döpke (1998)、Ringbom (1987) などがある。Döpke (1998) では、英語・ドイツ語を母語とするバイリンガル児の母語間の統語構造の言語転移について調べ、使用頻度が高く、より理解している言語からそうでない言語への転移が、その逆より多いことを明らかにしている。Ringbom (1987) は、スウェーデン語・フィンランド語を母語とする被験者の英語習得について研究し、フィンランド語よりスウェーデン語からの転移が多いことを示し、ここから学習者が学習言語と母語とが類似していると考えれば考えるほど、母語の知識に頼ることが多くなり、言語転移が起きやすいことを示した。しかしこの研究では母語であるフィンランド語とスウェーデン語の間の言語転移や優勢言語などについては問題にしていない。

韓日バイリンガルを被験者とした研究としては、高須 (2000)、都 (2000、2001)、朴 (2001)、朱 (2002) などがある。高須 (2000) では、日韓バイリンガル児の音韻干渉現象について、都 (2000、2001) では在日コリアン3世のコードスイッチングについて研究している。また朴 (2001) では日韓国際結婚家庭 (韓国在住) の子供を被験者にして、二言語使用の実態を調べ、日本語母語話者の親が日本語を使用しない場合に子供が日本語を使用することがないことを示し、子供をバイリンガルに育てるにあたって、日本語母語話者が子供に対して日本語を使用することは十分条件ではないが、必要最低条件の1つであるとしている。またバイリンガルになるためには当事者の意志も大切であるが、環境も重要であるとしている。

朱 (2002) は日韓バイリンガル児童の母語保持について研究し、母語を保持するためには保持努力、文字学習、教科学習が重要であることを指摘している。

3. 研究の方法

3.1 被験者のプロフィール

被験者は韓日英トライリンガル生徒1名 (T とする、1987年11月、東京生まれ、女

は日本語のほうが優勢であり、「韓日英」では韓国語>日本語>英語の順で優勢であることを示す。

性)である。父親は日本語母語話者の日本人(千葉県出身)で、母親は韓国語母語話者の韓国人(忠清南道出身)であるため、日韓国際結婚家庭に生まれた日韓バイリンガル生徒ということも可能である。Tは同時バイリンガルであり、均衡バイリンガルである。しかし、Tは以下で述べるように居住地(社会的環境)や家庭内の言語環境、さらに学校教育環境が成長と共に様々に変化しており、その環境により偏重バイリンガルになることも少なくなかった。なお、本稿ではTにおける韓日英三言語の関わりを見ることから、Tを「日韓バイリンガル生徒」ではなく、「韓日英トライリンガル生徒」と呼ぶことにする。

<表1>被験者のプロフィール

年齢	居住	学校教育	家庭	備考
0;0~	日本	日本語(保育園)	日(韓)	訪韓1年前より母親が韓国語使用を増加
3;4~	韓国	韓国語(幼稚園)	韓(日)	4歳から英語学習を開始
6;4~	韓国	韓国語(小学校)	韓(日)	4、5年生の1~2月は日本の小学校に体験入学8歳から英語クラブ、9歳から英会話学校に通う
12;4~	韓国	日本語(日本人学校)	韓>日	自宅に韓国人のいとこ2名が下宿、彼らに韓国語使用、13歳から英語は独学
14;1~	日本	日本語(中学校)	日>韓	帰国生徒の拠点校へ編入 15歳時に3週間の英語語学留学
15;5~	日本	日本語(高校)	日>韓	国際高校、英語の授業は週8時間
15;9~	米国	英語(高校)	英	交換留学(米国インディアナ州)
16;8~	日本	日本語(高校)	日>韓	国際高校、SAT・TOEFLの勉強を続ける

表1は被験者Tのプロフィールを簡単に述べたものである。Tは日本で生まれ、3歳まで日本で暮らし、日本の保育園に通う。Tは韓国語の単語が混在することもあったが、もっぱら日本語を話していた。被験者本人が韓国に引っ越す1年前に父親がまず韓国に行き、その頃から母親は家庭で韓国語の使用を増やしていく。3歳時に韓国へ渡り、幼稚園と小学校は現地校で韓国語による教育を受ける。家庭内では両親共に主に韓国語を使用したこともあり、Tは韓国語のみを使用していた。小学校4年生の頃に母語としての日本語が喪失しかかり、そのため、家庭内で父親は韓国語と共に日本語を使用するようになったが、Tの口から日本語が出ることはほとんどなかった。また小学校4年次と5年次の1月から3月までは日本に帰国し、東京の公立小学校に通い、日本語での教育を受ける。中学校はソウル日本人学校で日本語による教育を受ける。この頃家庭内では、韓国人のいとこ2名が下宿をしていたこともあり、彼らとは韓国語の使用が増えるが、日本人学校に通っていたことから親に対しては韓日両語が使用されていた。14歳(中学2年)時に日本に帰国し、中学は帰国生拠点校の都立中学、高校は都立国際高校²に通い、日本語による教育を

² 都立国際高校は学生の1/3が帰国生、1/3が在京外国人の高校である。

受ける。家庭内では日韓両語が用いられるが、Tは日本語だけを話していた。高校1年次に約1年間アメリカ・インディアナ州の公立高校へ交換留学をし、その間は英語による教育を受ける。周囲に日本人や韓国人の友人がいないわけではなかったが、英語習得に専念する気持ちから、彼らと接することはほとんどなかったという。

滞在年数は日本が 5;7 年、韓国が 10;7 年、米国が 0;11 年である。また学校教育年数で見ると、日本語による教育が 6;4 年（保育園 2;0 年、小学校 0;4 年、中学 3;0 年、高校 1;0 年）、韓国語による教育が 8;8 年（幼稚園 3;0 年、小学校 5;8 年）、英語による教育が 0;11 年（高校 0;11 年）である。英語は母語ではないが、4歳の頃から学び始める。最初は公文式英語を用いた自宅学習で、8歳からは小学校の英会話クラブに入り、9歳からは英会話学校に週2度ほど通う。13歳からはそのころ韓国でベストセラーとなった『英語は絶対に勉強するな』の考えから、その本の指導に従い独学になる。中学3年の夏休みには3週間、カナダでの語学留学に参加している。高校は国際高校国際学科であるため、一般校より多い、週8時間、英語の授業を受けている。英語能力は米国から帰国した2004年8月時に TOEIC (IP) 790、TOEFL (IP) 220 で、調査終了間近の2005年3月時には、TOEFL (IP) 227、4月時には TOEIC (IP) 820 である。

3.2 データ

被験者は上記の日韓英トライリンガル生徒 T、1名で、調査は2003年8月から2005年4月まで書き続けられた日記をデータとして用いた。2004年7月までは米国滞在中に書かれた手書きによる日記、それ以降は日本帰国後に書かれたワープロ入力による日記をデータとして用いた（ウィンドウズ日本語版を使用）。日記は英日韓の3か国語のいずれかの言葉をローテーションで用い、週1回書くように指示した。表2は日記が書かれた年月日と使用言語、書かれた文の数を示している。例えば「2003/8/12、J17」とは、2003年8月12日に日本語で17文からなる日記を書いたことを示す。

4. 結果

4.1 日記の内容分析

日記の内容を見ると、英語環境に置かれて1か月後（2003/9/14）に、「今日発見したこと、頭で考えるのは韓国語の方が多いということ。自分も知らないうちに韓国語で考えるときの方が多くなった。英語を翻訳しようとしても韓国語が先に浮かぶときが多くて・・・やはり韓国語が私の母国語なのかな？あと数字を数えるときはほとんど韓国語が先に浮かぶということも最近発見した。」と、自らの思考言語が日本語から韓国語へ変化したことや、母語のうち優勢言語なのは韓国語ではないかといった気づきが述べられている。彼女は訪米前の日本滞在中は、日本語で思考し、日本語で発話することが多かったが、英語環境に置かれてからは、わずか1か月の間に思考言語が日本語から韓国語へ変わったわけ

である。

また、在米半年後（2004/2/9）には「最近、英語で夢を見つけてます。ときどき日本語と韓国語混ざるけど。」と思考言語が少しずつ英語に変わりつつあることがわかる。しかし「英語から意味を考えようとすると先に韓国語が浮かぶってヤツがさいきんこの頃です。」と韓国語が依然として主要な思考言語であることに変わりがないことも述べている（資料の「気づき」を参照）。

<表 2> 日記が書かれた年月日と使用言語・文数

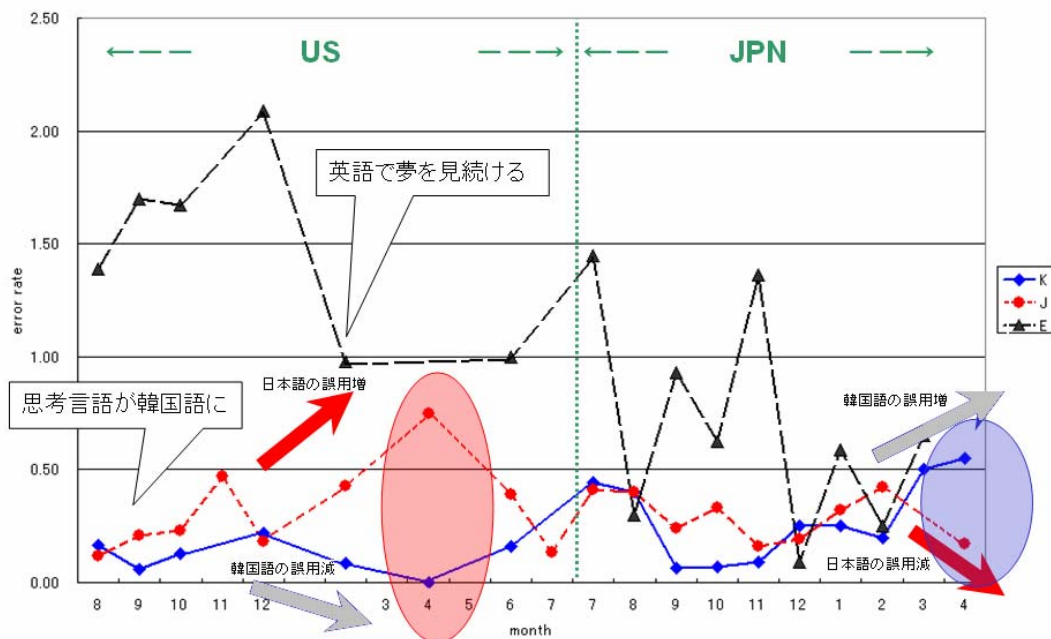
年月日	言語	年月日	言語	年月日	言語	年月日	言語
2003/8/12	J17	2003/10/12	K11	2004/6/14	J14	2004/11/13	E11
2003/8/13	K12	2003/11/26	J15	2004/6/30	K28	2004/11/20	J19
2003/8/16	E24	2003/12/19	J22	2004/7/5	J15	2004/12/1	K8
2003/8/17	E21	2003/12/19	K15	2004/7/15	J29	2004/12/15	E11
2003/8/24	E13	2003/12/21	E11	2004/7/23	K9	2004/12/26	J16
2003/8/27	E7	2003/12/21	K8	2004/7/31	E38	2005/1/8	K12
2003/8/28	E64	2004/2/9	J53	2004/8/7	J15	2005/1/28	E22
2003/8/31	E23	2004/2/11	E44	2004/8/15	K10	2005/1/30	J19
2003/9/5	K9	2004/2/17	K24	2004/8/21	E10	2005/2/6	K10
2003/9/14	J11	2004/2/17	E18	2004/9/1	K16	2005/2/12	E12
2003/9/14	K21	2004/2/24	J21	2004/9/13	J11	2005/2/21	J12
2003/9/21	E30	2004/4/17	K17	2004/9/21	E15	2005/3/2	K6
2003/9/28	K36	2004/5/1	J16	2004/9/27	J22	2005/3/20	E17
2003/9/28	J17	2004/6/2	K33	2004/10/20	K14	2005/4/2	J12
2003/10/5	K12	2004/6/6	J22	2004/10/24	E16	2005/4/12	K11
2003/10/5	J13	2004/6/9	K25	2004/10/30	J15		

4.2 韓日英 3 言語の誤用率の変化

図 1 は 1 文当たりの誤用数の変化を、使用言語別にグラフにしたものである。思考言語が日本語から韓国語に変化していった 9 月ごろを境に、日本語の誤用数が韓国語の誤用数を上回るようになっていく。その後韓国語の誤用は減少する一方で、日本語の誤用は増加していく。日本帰国直前あたりから再び韓国語の誤用が増え、日本語の誤用が減り始めている。帰国後半年ほどは日本語と韓国語の誤用率はほぼ同じ程度であるが、その後韓国語の誤用率が日本語のそれを上回る趨勢を示している。

これらは①日本で生活していた訪米前は言語環境の影響から日本語が思考言語であり発話言語となっていたこと、②アメリカという日本語でも韓国語でもない第三の言語環境に置かれた際、韓国語が徐々に思考言語の地位を取り戻し、思考言語が日本語から韓国語へ変化したこと、③日本帰国とともに、再び日本語環境の中で、日本語が思考言語の地位に回復しつつあること、を示している。特に②は T の（言語能力における）優勢言語が韓

国語であることを明確に示している。また、韓国語が思考言語であれば、韓国語を表出する場合には誤用が少ないが、日本語を表出する場合には、韓国語で考えそれを日本語に変換することが多くなるため、誤用が多くなると思われる。逆も同様である。



＜図 1＞被験者 T の韓日英の文当たりの誤用率の変化

英語について言えば、訪米後一定期間、英語使用が増加したことに伴い、誤用率も増加するが、その後誤りは減り始めていく。帰国後も英語の誤りはあまり増加していない。これは高校で、週 8 時間ある英語の授業を最上級のクラスに加わるようになったため、日本という非英語使用環境でありながら、英語使用がさほど減少しなかったこと、本人も交換留学で習得した英語能力を喪失しないよう、洋書を読んだり、アメリカの大学進学をめざし、SAT や TOEFL の勉強をするなどの努力をしたこと、教室環境での英語学習はむしろ正確度を高めるために効果があったと思われること、スペリングの間違いなどは PC のスペルチェック機能が自動的に教えてくれることなどが原因として考えられる。

4.3 日韓両語の誤用と言語間転移

表 3 は誤用を転移による誤用とそうでない誤用とに分け、日韓両語の誤用の内訳をまとめたものである。訪米直後の 2003 年 8 月から 10 月までは、転移による誤用は日本語より韓国語のほうが多い。これはこの時期の思考言語が日本語であるため、表出言語が日本語であれば問題が少ないが、韓国語の場合には、思考言語が日本語であるため、思考言語（日本語）から表出言語（韓国語）へ転移が起こりやすくなるためである。一方、2003

年 11 月から 2004 年 7 月までの期間には、転移による誤用は日本語のほうが韓国語より多くなっている。これも思考言語と表出言語との関係で説明ができる。この時期の思考言語は韓国語であるため、韓国語を表出する場合には問題が少ないが、日本語である場合には、思考言語（韓国語）から表出言語（日本語）への転移が起こりやすい。日本帰国後は、日本語の誤用で韓国語の転移による誤用は減少している。これは思考言語が徐々に韓国語から日本語に変わりつつあるためであると説明できる。

<表 3> 日韓両語の誤用数・転移率の変化

年/月	日本語				韓国語			
	誤用数	転移	非転移	転移率	誤用数	転移	非転移	転移率
2003/8~10	11	4	7	36%	9	5	4	56%
2003/11~2004/1	11	6	5	55%	5	2	3	40%
2004/2~4	42	20	22	48%	2	0	2	0%
2004/5~7	15	8	7	53%	16	1	15	6%
2004/7~9	27	6	21	22%	9	1	8	11%
2004/10~12	11	3	8	27%	4	1	3	25%
2005/1~4	13	2	11	15%	14	0	14	0%

表 4 は日韓両語の誤用の内訳を転移と非転移に分けてまとめたものである（誤用内容については巻末資料を参照）。表 4 を見ると、訪米直後（2003 年 8 月から 10 月）は、韓国語では(1)、(2)のような日本語の転移による、表現、格助詞などの誤用が、(3)、(4)のような転移によらない、表記や方言的な表現などの誤用を上回る一方、日本語では(5)、(6)のような韓国語の転移による、表現やアスペクトなどの誤用より、(7)~(10)のような転移によらない、表現や動詞、接続助詞、表記などの誤用のほうが多い。

(1)그럼 내일 학교가 있으니까 이만 줄일게요! 굿나잇!(3/9/14)

(2)오늘은 시내관광에 갔다.(3/8/13)

(3)그래도 이제까지 해왔던 것에 비하면 아무것도아니지모!(3/9/14)

(4)숙제 해야되는데 집에 갈라면 아직 멀은것 같다.(3/9/28)

(5)なんかおそいようではやいようで・・・(3/9/14)

(6)私の誕生日を”まだ”おぼえてくれるとは意外だ。(3/9/28)

(7)ジェットコースターにのろうと思って、並んだ時に、2回くらい先越しをされたり、色々とマナーにあってない事をたくさん見かけた。(3/8/12)

(8)カルチャーショックもしたし、離婚はぜったいに子供によくないってことを改めてかんじた。(3/9/28)

<表 4 > 日韓両語の誤用内訳の変化

	日本語		韓国語	
	転移	非転移	転移	非転移
2003/8 ～10	表現 2、アスペクト、文末	表現 4、動詞、接続助詞、表記	表現 2、格助詞 2、指示詞	表記 2、方言 2
2003/11 ～2004/1	表記 2、表現 2、文末、格助詞	表現、動詞、テンス、終助詞、格助詞	補助 V、格助詞	表記 2、動詞
2004/2 ～4	動詞 9、複数 3、表現 3、名詞、形容詞、終助詞、格助詞、ヴォイス	表現 10、動詞 2、形式名詞 2、取立 2、助数詞、格助詞、アスペクト、文末、活用、表記		格助詞、表記
2004/5 ～7	表現 2、助数詞 2、名詞、複数、格助詞、ヴォイス	表現 3、動詞 2、格助詞、接続助詞	格助詞	表記 7、方言 2、表現 3、格助詞、ヴォイス、テンス
在米中	動詞 9、表現 9、複数 4、名詞 2、形容詞、ヴォイス 2、文末 2、表記 2、格助詞 2、助数詞 2、アスペクト、終助詞	表現 18、動詞 6、形式名詞 2、取立 2、格助詞 2、表記 2、助数詞、接続助詞 2、テンス、アスペクト、終助詞、文末、活用	格助詞 4、表現 2、指示詞、補助 V	表記 12、方言 4、表現 3、格助詞 2、動詞、ヴォイス、テンス
2004/7 ～9	表現 2、動詞 2、名詞、品詞	表現 7、動詞 4、形式名詞 2、取立 2、副詞、アスペクト、接続助詞、格助詞 2、活用	表現	表記 6、表現 2
2004/10 ～12	表現 2、接続助詞	表現 4、名詞、格助詞、接続助詞、活用	表現	名詞 2、ヴォイス
2005/1 ～4	動詞、終助詞	表現 3、動詞 2、格助詞 2、名詞、形式名詞、接続助詞、取立		表記 8、名詞 4、活用、形式名詞
帰国後	表現 4、動詞 3、名詞、接続助詞、終助詞、品詞	表現 14、動詞 6、格助詞 5、形式名詞 3、取立 3、名詞 2、接続助詞 2、活用 2、接続詞、副詞、アスペクト	表現 2	表記 14、名詞 6、活用、形式名詞、表現 2、ヴォイス

(9)Kはないたし、私はひどーっと思った。(3/9/28)

(10)もし日本にかえってそのままほおっておくとせつなくなったら英語がだいなしになるのではないかと心配になったのだ。(3/9/28)

しかし訪米後しばらくした期間（2003年11月から2004年7月まで）の日本語では、(11)～(13)のような韓国語からの転移による、動詞選択や表現、複数語尾の不要な付加などの誤用が多いのに対し、韓国語では、(14)、(15)のような日本語の転移によらない、表記の誤り、方言的な表現の使用などの誤用が多かった（方言の使用は正確には誤用ではないが、ここでは母親の言語使用の影響を考慮することから誤用に含めた）。

- (11)ミュージカルのれんしゅうもちょっとずつはじまって思い出もどん②つもって行ってます☆(4/2/17)
- (12)まだこっちは0℃ちかくの寒さで春になる気味もみえてないけど、もうこのさむさにもなれてきた。(4/2/17)
- (13)コーリングは人たちがあつまって話をきいたりするやつで、ビューイングは亡くなった人をまぢかで見ることだ。(4/2/17)
- (14)아, 남자친구도 생겼고! 스페인에 었지만... 3 주만에 헤어져버렸다.(4/6/2)
- (15)뮤지컬 오디션을 봤기때문에 시간을 더 유익하게 쓸수 있었고, 친구도 더 많이 새길수 있었던 것 같다.(4/6/2)

日本帰国後の日本語の誤用では、例えば誤用の多かった表現や動詞の誤用でも、韓国語の転移による(16)、(17)のような誤用より、転移によらない(18)、(19)のような誤用のほうが多くなっている。

- (16)前から3番目に試験を終わらすことができた。(4/8/7)
- (17)最近大学の本を読み始めていろいろと思うようになった。(4/7/15)
- (18)残りの宿題も終わらせなきゃなんで、今日は寝ます☆(4/9/27)
- (19)このテストが1年間の成績を決め付ける一番重要なものとなるから。(5/2/21)

韓国語の誤用で表記の誤用や方言的な表現が多いのは、小学校卒業以降4年近くの間、韓国語での教育を受けておらず、書き言葉に接する機会が少なかつたために表記法を忘れてしまったこと、その間に接する韓国語で最も多いのが母親が話す韓国語であったため、韓国語の表記に母親の方言（忠清南道）の影響を受けたことなどが考えられる。

また日韓両語とも、転移による誤用は、言葉を単に置きかえることで生じた翻訳的な誤用が目立つ点で共通している。これはストラテジーとして意識的に用いられた場合もあるであろうが、日韓両語の統語構造が類似しているため、思考言語から表出言語へ無意識のうちに転移が起きている場合もあるであろう。

日韓両語の転移による誤用を比較することは容易ではないが、一点、両者には際立った違いがある。それは動詞の語彙選択の誤用である。韓国語が転移したと思われる日本語の

誤用は 12 で、最も多く見られるのに対し、日本語が転移したと思われる韓国語の誤用は 1 つも見られないからである。具体的には、「興味ができた (→興味がわいてきた)」、「手伝う (→助ける)」、「思う (→考える)」などである。表現の中にも「足を離す (去る)」、「ジョギングに行き始めた (→ジョギングをし始めた)」など動詞選択と関係が深いものが多い。語彙選択は母語が転移しやすいと言われるが、動詞選択の部分で韓国語から日本語への転移が多いということは、やはり優勢言語が韓国語であり、思考言語も韓国語になりやすいことを感じさせる。

5. 考察

5.1 優勢言語

既に述べたように T は、2つの母語である日本語、韓国語のいずれでもない、第三の言語環境 (英語) に置かれて 1 か月後に、思考言語を日本語から韓国語に変化させている。したがって T の優勢言語は韓国語であると言えそうである。T が何ゆえ韓国語を優勢言語とするようになったのかについては 5.4 で考察することにする。

5.2 両語間の誤り (転移)

次に日韓両語間の誤り (転移) について述べる。上記の結果から明らかなように、言語間の誤用 (転移) は思考言語と表出言語が異なる場合に起こりやすい。本被験者 T の場合は、訪米直後は、思考言語がまだ日本語であったため、韓国語を表出する際に日本語の転移による誤用が起きやすく、その後は思考言語が韓国語になるため、日本語を表出する際に韓国語の転移による誤用が起きやすくなっていた。このように転移による誤用は、思考言語から表出言語へ起こりやすくなっており、常に優勢言語である韓国語から非優勢言語である日本語へ転移が起きやすいわけではない。

5.3 思考言語

既に述べたように、被験者 T は言語能力的には韓国語が日本語より優勢である。にもかかわらず、訪米前の日本滞在中、及び訪米直後は、日本語で思考することが多かった。これは思考言語が常に優勢言語と同じではなく、言語環境の影響を受けやすいことを意味している。一方、訪米して 1 か月後に、言語能力において優勢言語である韓国語が日本語に代わり思考言語となっていくた。換言すれば、優勢言語は訪米前も訪米後も韓国語であったが、思考言語は置かれた言語環境が日本語から英語に変化することにより、日本語から韓国語へ移行していったのである。さらに訪米して半年後には思考言語が英語に変わることがあった。これは、T の優勢言語は本質的には韓国語であり、それは英語環境に置かれても同じであるが、思考言語は、置かれた言語環境 (英語) の影響を受け、母語ではない英語でさえ時々思考言語になりうることを示している。これら 3 つの事実は、思考言語

が置かれた言語環境の影響を受けやすく、常に優勢言語と同一にはならないことを示している。

5.4 優勢言語の決定要因

では、日本で生まれ、日本人の父親と韓国人の母親を持つ被験者 T の優勢言語はどのように（日本語ではなく）韓国語となったのであろうか。それを決定する要因として、①誕生時の言語環境、②調査時点までの家庭的、社会的、教育的言語環境、③調査時点での家庭的、社会的、教育的言語環境などを考察してみたい。

T の場合、大雑把に言えば同時バイリンガルであり、均衡バイリンガルであるが、①は日本語優位の環境である。②は以下の(a)~(c)のように日本語より韓国語が優位となっている。(a)の家庭的言語環境は、韓国在住時 (10;7) は韓国語、日本在住時 (5;7) は日本語の使用が家庭内で多くなっているのに加え、幼稚園、小学校在学中、日本語が家庭内でほとんど用いられなかった時期があったことも影響を及ぼしているであろう。

(a)家庭：韓国語使用 > 日本語使用 (表 1 参照)

(b)社会：韓国在住 (10;7) > 日本在住 (5;7)

(c)教育：韓国語による教育 (8;8) > 日本語による教育 (6;4)

③については、その時々により、日本語または英語に変化している。

Tの優勢言語が言語環境に関わりなく、基本的³に韓国語であった理由は、①や③では説明ができない。そうすると②の成長時の家庭的、社会的、教育的言語環境が優勢言語を決定するということである。①は母語を決定づける言語的な環境要因であるが、優勢言語の決定要因が母語決定要因である①ではなく、②であるということは、成長時の言語環境によっては母語が喪失される可能性を示している。朴 (2001) では家庭での母語使用がバイリンガルの母語を保持する必要最低条件であると語っているが、これは(a)の家族的言語環境の重要性を示しており、朱 (2002) では文字学習と教科学習を母語で行うことが母語保持に重要であるとしているが、これは(c)の教育的言語環境の重要性を示している。(b)の社会的言語環境において、母語とは異なる言語を使用する環境において母語を保持するためには、(a)を必要最低条件とし、願わくは(c)が保障されないと、母語を優勢言語として保持することが難しいということである。Tの場合には、幼稚園から小学校高学年までの期間に(a)~(c)の全てが韓国語優位の言語環境となってしまったため、小学高学年時に、本来母語となり優勢言語となるはずであった日本語喪失の危機に見舞われたものと思われる。

5.5 思考言語の決定要因

³ 基本的にとったのは、3歳時に韓国へ引越す以前には、少なくともTの優勢言語は日本語であったと思われるからである。韓国に居住するようになったある時点からTの優勢言語は韓国語に移行したと思われる。

次に思考言語と言語環境との関係について考察する。T は訪米前（日本語環境）及び訪米直後には日本語、訪米中（英語環境）には韓国語を思考言語としていた。在米中の後半には思考言語が英語になることもあった。さらに日本帰国後には、徐々に思考言語は日本語へと変わっていった。この理由について考えてみたい。

まず訪米前に、思考言語が日本語であったことは、訪米前の社会的、家庭的、教育的な言語環境、すなわち③で説明が可能である。T は②により韓国語が優勢言語であったが、③の言語環境の影響を受け、思考言語が日本語となっていたのである。このことは思考言語は必ずしも優勢言語であるとは限らず、置かれた言語環境の影響を受けやすいことを示している。

次に訪米中に思考言語が韓国語になった理由を考えてみる。これについては①（日本語）、③（英語）では説明できず、②によって説明が可能である。つまり置かれた言語環境（③）が日韓両語に関して中立だったため、②の影響で優勢言語となった韓国語が思考言語となったのである。さらに訪米中の後半に英語がやや思考言語になっていたが、これは置かれた言語環境（③）の影響を受けて思考言語が決定されていることを示している。

また米国から日本に帰国後（少なくとも本調査期間である 2004 年 7 月から 2005 年 4 月まで）は、図 1 を見ると、そのときに置かれた言語環境（③）において優位な日本語と本来の優勢言語であり訪米中の思考言語であった韓国語とが均衡し、両語がともに思考言語になっている可能性がある。表 4 を見ると、日本語、韓国語とも、転移率が最大でも 27% 以下と低い。このことはこの時期の思考言語が、日本語を話す場合には日本語、韓国語で話す場合には韓国語であった可能性を示唆している。このようにバイリンガルである T の思考言語は③の置かれた言語環境に非常に左右されやすいこと、第三の言語環境に置かれるなど、置かれた言語環境の影響が少ない場合には、本来の優勢言語が思考言語となること、が明らかになった。母語を 1 つしか持たないモノリンガルは、圧倒的に優勢な言語を 1 つ持っており、基本的にその優勢言語（＝母語）が常に思考言語となることが多いが、バイリンガルである T の場合には、モノリンガルに比べ、置かれた言語環境の影響を受けやすく、2 つの母語の間で思考言語が揺れ動いている。もし T が日本語でも韓国語でもない第三の言語環境に長く生活し、その影響を強く受けるようになれば、母語ではない、社会で使用されている言語が思考言語になることもある。

6. まとめ

以上、韓日英トライリンガル生徒 T の言語使用をデータにして、トライリンガル生徒の言語能力や言語運用の実態と、環境要因の影響について見てきた。本研究で明らかになったことは以下のような点である。

①優勢言語について：T の優勢言語は韓国語である。これは出生時の言語環境（日本語優位）ではなく、成長時の家庭的、社会的、教育的言語環境の影響（韓国語優位）で決定さ

れている。このことは社会的な言語環境が母語と異なる場合に、家庭的、教育的な言語環境を整えないと母語を喪失する危険性があることを示唆している。

②母語である両語の言語運用について：言語間の誤用（転移）は思考言語と表出言語が異なる場合に起こりやすく、思考言語から表出言語へ転移が起きやすい。常に優勢言語（韓国語）から非優勢言語（日本語）へと起きやすいわけではない。

③思考言語について：思考言語は常に優勢言語（韓国語）と同じになるとは限らず、置かれた言語環境の影響を受ける。第三の言語環境に置かれるなど、言語環境の影響が少ない場合には優勢言語が思考言語になる。またバイリンガルはモノリンガルに比べ、安定した1つの優勢言語を持っていないため、置かれた言語環境の影響を受けて思考言語が変化しやすい。

これまで日本や韓国は比較的単一的な言語環境が保たれ、そのために、二言語・多言語使用や習得に関する研究は非常に遅れていた。しかしながらグローバル時代を迎え、ボーダーレスの時代に向かう中、日本や韓国においても、二言語、さらには多言語併用環境は今後ますます増加していくことは間違いない。また EU などでは、地域内で複数の言語が日常的に使用される多言語社会が実現されており、日本や韓国でも 2002 年のサッカーのワールドカップ共催以降、韓日中（英）の多言語使用が増加しており、今後極東が欧州のような共同体に向かわないとも限らない。国際結婚家庭や外国人労働者、帰国生徒なども増加の一途である。その意味で本研究が行われた意義は決して小さくはないであろう。しかしながら本研究は一人の被験者を扱った事例研究であり、これを直ちに普遍化することはできない。それを解決するためには、今後似たような被験者を探してデータを収集、分析したり、他の言語のトライリンガル生徒などの結果を参考にするなどの方法によって補完していくことが求められる。

【付記】本論文は『日本学報』70（韓国日本学会）に掲載されたものを一部加筆修正したものである。

参考文献

Döpke, S. (1998) Competing language structures: The Acquisition of verb placement by bilingual German-English children. *Journal of Child Language* 25, 555-584.

Ringbom, H. (1987) The role of the first language in foreign language learning. *Multilingual Matters*.

高須陽子（2000）「子どもの言語発達過程における音韻形成に関する考察－韓日両国語使用児(bilingual)の発話において観察された干渉現象を中心に－」『日本語学研究』2, 71-81

朱睨淑（2002）「韓国語と日本語の二言語環境にいる韓国人児童の二言語能力：母語保持・発達を中心に」、お茶の水女子大学大学院人間文化研究科修士論文

都恩珍（2000）「日本語・韓国語バイリンガルによるコード切り替え」『日本学報』45, 19-32

都恩珍（2001）「日本語・韓国語混合文における在日コリアンのコード切り替え」『日本文学化学報』10, 71-86

朴銀永 (2001) 「日韓國際結婚の二言語併用の実態：意識調査及び会話分析を中心として」『日本学報』46, 1-14

森山新 (2005) How Languages are Transferred by a Korean - Japanese - English Trilingual Student. 4th International Conference on 3rd language acquisition and multilingualism.

<資料> 誤用、気づきの内容(日韓両語で書かれたもののみ、下線部が誤用部分、区分で*印は母語転移の誤用)

年月日	日記の内容	区分
30812	こんなんでこれからのアメリカ生活大丈夫かな～って心配になってきた。	気づき
	アメリカの男の子から話かけられたけど、日本語では思いついたのに英語が全くでなくなっていた。	気づき
	日本で話す時とはちがっていた。	気づき
	並んだ時に、2回くらい先越しをされたり、色々とマナーにあってない事をたくさん見かけた。	表現 2
30813	오늘은 시내관광에 갔다.	*格
	다른애들은 많이 남기던데.. 이게 똥보의 시작인가…?	*表現
30914	なんかおそいようではやいようで・・・	*表現
	그래도 이제까지 해왔던 것에 비하면 아무것도아니지모!	表記
	그럼 내일 학교가 있으니까 이만 줄일게요! 쿠나잇!	*表現
	머리속으로 생각하는 것은 한국말이 더 많다는것!	気づき
	나도 모르게 한국말로 생각하고 있던 때가 많아졌다.	気づき
	영어를 번역하려고 하면 한국말이 먼저 떠오를 때가 많고…	気づき
	역시 한국어가 내 모국어 인가? (´_`)	気づき
	아, 그리고 숫자 셀때는 거의 한국말이 먼저 떠오른 다는 사실도 요즘 발견했다!	気づき
30928	이 얘기는 컴퓨터로 움직이는 얘기라서, 울고 자고 한다.	*指示詞
	숙제 해야되는데 집에 갈라면 아직 멀은것 같다.	方言
	おそいようではやいようで・・・もう 10 月になろうとしてるし、本当毎日×2がはやい気がするなあ。	*表現
	あと、先週はKとお父さんがいっぱいケンカしてた気がする。	表現
	私の誕生日を”まだ”おぼえてくれるとは意外だ。	*アスペクト
	Kはないたし、私はひどーと思った。	接続助詞
	カルチャーショックもしたし、離婚はぜったいに子供によくないってことを改めてかんじた。	動詞
	토요일, 금요일날에는 Dinner Party 의 준비 때문에 무척 바빴다.	*格
	10/18 일에 있을 합창 콘서트를 대비해서 “Fund Raiser”이라는 것을 받아왔다.	表記
	そのままほおっておくとせつかくならなった英語がだいなしになるのではないかと心配になったのだ。	表記、文末
	あと韓国語を忘れないために、韓国の高校に1～2週間体験入学とかってだめなのかなと思った。	気づき
	親の都合に合わせてうごかなきゃだし。	表現
31012	역시 미국은 다르다 라는 생각이 들었다 (´_`);	方言
31126	日本でのことか思い出しちゃって涙がとまらなくなっちゃったのだ。	*文末
	テクスギビングデーは家族で過ごすってことを知らなくて、	*表記
	私はなんでおこってるのか知らなくて、「私に怒ってる？」ってきいた。	動詞
	あんたテクスギビングは家族で過ごすって知らなかったの？	*表記
	私怒ってるっていうかあんたじゃまなの。」ってみたいなのを言われて	*表現
	ごめんよ。怒ったつもりじゃなかったんだけど・・・	テンス

	なんかこの子はどういう子でどうせしたらわからないし、	表現
31219	日本語、韓国語、英語がまざる(〇_く;))	気づき
	CIEEのメンバーで！けっこう楽しかったしい思い出になったよお！！	終
	人2倍やっても2分の1くらいしかとれないからけっこうそういうのにストレスをうけた。	*表現
	それが良くわかるのが数学のスペイン語！	格
	両方クラストップで輝いています☆	*格
	첫째로 10 개월이라는 공백을 채울수 있을까 - 하는게 걱정이고,	表記
	앞으로 일이 조금씩 걱정되어간다.	*補助 V
	조금있으면 크리스마스이다!	表記
	셋째로 좋은 경험 많이 많이 만들고 싶다.	動詞
31221	오늘은 크리스마스 쇼핑에 갔다왔다.	*格
40209	えっと、最近英語で夢をみつづけてます☆ ときどき日本語と韓国語混ざるけど・・・。	気づき 2
	あと、まだ英語で考え事はそこまでしないけど、	表現
	最近はっけんしたコトはいつの間に韓国語で考え事する事が多いんです、これが。	*終、気づき
	あと、英語から意味を考えようとすると先に韓国語が浮かぶってヤツがさいきんこの頃です。	格、表現、気づき
	こないだ”Rock”が日本語で何かじしよで調べるまで思い出せなかったし・・・。(岩)	気づき
	1学期よりもスキ☆	*形容詞
	でも多分ずっとここにいてたんなら、もっと高いレベルのクライアーにも入れたらうし、もっと色々なことの情報しってて、多分もっと忙しい自分になれたらうなって思います。	アスペクト、文末、表現
	だから、大学こっちきてもそこまで暇でない自信あります☆	表現
	東京でみたいに楽しくはすごせないかもだけど、「有意義」にすごせそうな気がします！	表現
	最近考えてることはこういうコトらでした(笑)	*複
	何か東京ってゆういつおそれずに色々なことが経験できる所って思った！	表記
	そこから習んだこともあるし、決してバカな思い出になったことはないと思う。	表現
	私、まだガキでしょつちゅう考えてる事は男問題とかももっとキレイになりたいとかの事ばかりだけど、	*表現、表現
	自分的に変な感じがします(笑)	表現
	American Literature をやっていますアメリカの作品に興味ができた！！	動詞、動詞
	6ヶ月間親からはなれて色々なこと自分で決めるようになってもっと責任感を感じるようになったし、	*名詞
	あ、私日本かえったら毎日②ちよつとずつもっと勉強しなきゃっていうのもまなびましたー！！	形式名詞、動詞
	私にとってはやっぱ日本が故郷なのかなって思うこの頃です(笑)	気づき
40217	영어공부로 좋을까... 하는 생각이 들었다.	格
	조금만 더 있으면 내가 대학을 가는구나 하는 실감이 났다.	表記
	コーリングは人たちがあつまって話をきいたりするやつで、ビューイングは亡くなった人をまちかでみることだ。	*複、形式名詞
	人生はじめて身近(ではないけれど・・・)な人が死んだのをみてなんだろお、言いかえれない何かをならんだ気がした。	表現、*動詞、活用
	Sのおばあちゃんは日本の方で、てんぷらをばんごはんでつくってもらった☆	*格
	まだこっちは0℃ちかくの寒さで春になる気味もみえてないけど、もうこのさむさにもなれてきた。	*表現
	ミュージカルのれんしゅうもちよつとずつはじまって思い出もどん②つもって行ってます☆	*動詞
40404	すごく感動して5回も泣いただけではなく自分の将来をもう一度考えさせてくれた。	取立、*ワオ
	いつも第2希望であった人たちを手伝ったり福祉活動することがもっともつとやりたくなったのだ。	*複、*動詞
	私に今世の中がどれだけ冷たくて自己中であるかを思い出させてくれたし、おしえてくれた。	*動詞

	多分今はその映画を見たばかりだから火がもえているのかもしれないけど、	*表現
	1日1個人を手伝うこととして、1ヶ月にかせいだお金の半分を人を手伝うことに使って、毎週末土ようか日ようの中の日をボランティアデーとして手伝ったりボランティア活動したいと思った。	助数詞、*動詞
	1ヶ月にかせいだお金の半分を人を手伝うことに使って、毎週末土ようか日ようの中の日をボランティアデーとして手伝ったりボランティア活動したいと思った。	*動詞2
	日本だけでも手伝えることたくさんあるし……。	取立、*動詞
	まあ、ママ、パパならもっといい答えがあるかもだし、もうねる時間なのでおわりにします。	表現
40602	이 9개월동안 정말 많은 친구들은 새겼구나… 하는 느낌이 들었다.	発音
	나의 꿈에 대해 생각해볼 수 있는 기회가 된 것 같아서 시간의 낭비라고는 생각 안된다.	*格
	친구도 더 많이 새길수 있었던 것 같다.	方言
	수학은 점점 어려워지는 과목이니까 일본가서 여름동안에 과해 받을까 한다.	発音
	영어들은 거에 도움이 됐는지 안됐는지 잘은 모르겠지만 미국애들과 얘기하고 노는 시간이 많이 늘었고, 미국 친구들이 더 많이 생겼다.	テンス、表記2
	아, 남자친구도 생겼고! 스페인에 었지만… 3주만에 헤어져버렸다.	表記, 氣づき
	일본말과 한국말 사용을 금지하기 위해서 개네들과 놀러다니고 하는 것을 그만둔것이다.	氣づき
40606	長かったなあ、ここまでくるまで……。	接続助詞
	あと2週でフロリダ行って、かえってきたらあと1週で日本かあ。	*助数詞2
	この月は早くすぎでしまいそうだ。	*名詞
	昨日から朝5:00起きして30分間ジョギングに行きはじめた。	*表現
	でもアメリカでヘルシー食ってそこまでないからこれは大変になりそうだ。	表現2
	でもこの二日でもう2kgもやせたとし、もおしかしたら日本かえる前に増えた分全部おとせそうだ♪	動詞
	最近日本のゆめまた見始めたりしたし、最後のホームシックがきたようだ。	氣づき
	気づいた思い出のものたちをみて、ああーあたし本当に帰っちゃうんだなあって実感した。	動詞、*複
40609	빨르게 가는 건지 늦게 가는 건지…	方言
40614	でも経験してみたいこと全部大学の前までこのままじゃできないし。	*格
	1, 2年の間経験できることトライして3年になったら受験一途っていうのもいいかもって思った。	格
	みんなより1年おくれでもその分みんなよりもっと経験が多く、成長もしてる自信あるし……。	表現、*表現
40630	내 남은 고등 생활을 생각하면 잠도 못잘 정도로 기대가 된다.	表現
	짐은 거의 다 쌓지만 청소는 아직 많 - 이 남았다…	表現
	2학기때 별로 사이가 안좋았기때문에 마음도 안 갖고 잘 있으라는 인사도 안했다.	表記
	잘 살겠지모…	表記
	사이 별로 좋지 않았던 부모 자식관계를 다시 생각해보고 같이 고쳐나가자는 내용이였다.	格
	내 스스로 자기의 결심을 뚜렷하게, 맞게 정하는 것도 신중히 해야 겠다는 생각도 들었다.	表現、ヴォ
40705	いっぱいの人にみおくりされて泣いてもらって私はあいされてるなあって幸せな気持ちになった。	*ヴォ
	日本から足をはなしてから11ヶ月間、本当に色々まなべたし、成長できた気がする。	*表現
40715	もう日本にきてからも10日たった。	取立
	なんかもうアメリカを去って1ヶ月くらいする気がする。	動詞
	もう長い時間の間ここですごしている感じがするのだと思う。	表現
	二人ともまだ10日しかたつてないんだね、っていつていた。	アスペクト
	先週の日曜日からもカラオケでバイトを始めた。	取立
	うまれて初めて本当に働いてお金をもらうという形なので、なんかうれしかった。	形式名詞

	最近大学の本を読み始めていろいろと思うようになった。	*動詞
	私このままだと絶対に希望大学はいれないなど思ったこともあるし、これからやらなくてはいけなことがたくさんあるということをもう一回改めて感じる事ができた。	形式名詞、表現
	今から勉強をはじめないと、目標の点数に達することができないかもという不安感もわいてきた。	*名詞
	だからもう一度あらためて本当これから頑張ろうと意志がきまった。	表現、動詞
40723	1 학년이 될 것인지 2 학년이 될 것인지에 대한 최종적인 결과를 정하러 간 것이다.	表記
	벌써 2 번이나 갔다왔기 때문에 이제는 결정 내주겠지 하는 마음에 두근거리면서 갔다.	表現
	그 쪽에서 말하기를 이런 케이스는 전례에는 없었기 때문에 아주 심각한 문제 였다고 했다.	表記
	새로운 마음으로 더 성숙해진 내 모습으로	表記
40807	ほかの人にくらべてまったく時間がかからず、前から3番目に試験を終わらすことができた。	副詞、*表現
	こうやって数値的にわかって、すこしはほっとした感じになった。	表現
	今日カブランからの資料も届いたので、これからどうやってトフルを準備していくかをきめてそれをやっていくことしかのこっていない。	接続助詞、*表現
	トフルの受験をする前は、けいちゃんと代々木のフリマやプリクラをとったりしてすごく楽しかった。	表現
40815	나와 같은 반에 있던 아이들은 모두다 일본 고등학생 치고는 영어가 꽤 우수했다.	表記
	이야기 하고 있는것은 선생님 아니면 나이라고 말해도 될 정도였다.	表記
	어쨌든 친구도 엄청나게 많이 생겼고, 영어도 자기 전보다 술술이 나오게 되었고	表記
	40 명정도 아이들이 남지않고 집에 가버렸기 때문에, 그때 슬퍼서 눈물이 나와 버렸다.	表現
40901	내일은 오전까지밖에 학교가 없고, 금요일부터 수업이 본격적으로 시작된다.	*表現
40913	やっぱ疲れさが違います！	活用
	学校徒歩っていうのもあるし、やっぱ勉強のほう遊ぶほうより疲れるし・・・苦笑	格
	それの中で、宿題も忘れずに、勉強もちよつとずつでもやるように気をかけています☆	表現
40927	学校でたまったストレスをある程度なくすことができた気がします☆	動詞
	学校はすごい楽しいけど、勉強をがんばらなきゃというプレッシャーや、	格
	ちゃんと宿題とか授業とかやってて、昨年よりはぜんぜん充実してるなという感じはします！！	動詞
	T が充実な 1 年間をすごしたって認めてもらったってことなので、すごくうれしかったです！！	*品詞
	では、明日はバイトもあるし、残りの宿題も終わらせなきゃなんで、今日は寝ます☆	表現
41020	하루하루가 알찬것 같은 느낌도 들고.. 전부가 다 대충대충 해지지 않도록, 열심히 해야겠다.	ヴォ
	テストとか生徒会のこともあって全くいけなかったです。	活用
	疲れているはずなのに、楽しいから疲れているという感じもしないし☆	*接続助詞
	T も生徒会の仕事はどんなに大変でも、責任というものがあってだからでもあるし、	*表現
	常に生徒の模範にならなくてはいけないという面では、まだぜんぜん努力が必要だけど、	表現
	勉強、生徒会、バイトの3立がしっかりできるように、	表現
41110	이렇게 나쁜 점수를 받은것은 처음이여서 누구보다도 자기 자신에게 상당히 실망을 했다.	*表現
41120	もうすぐで17歳かぁ・・・	格
	だからなおさら毎日毎日を充実に、悔いがのこらないようにすごさなきゃだな、と思いました。	*表現
	まあ力つく限りがんばります。本当に申あげなくちゃならないのにな・・・。	表現
41210	전교회 일 때문에 바빠서 집에 돌아오면 그 스트레스 때문에 공부에 집중도 안되고(´-`;;	名詞
	이러면 안되는데... 하는 생각이 들지만 내자신 주관을 잘 못하겠다.	名詞
	SAT と TOEFL も大きな面を占めるし・・・。	名詞

	結構まだ余裕があると思ったらそうでもなかったってことに気がつきました。	接続助詞
	いい成績だったのが、ちょっとだけ自信につなげてくれたのではないかなと思いました。	表現
50108	친구와의 교류를 통해서 재밌고 알찬 일년이 되었으면 한다.	表記
	2 ㄹ후면 겨울방학도 끝나고 다시 학교생활이 시작된다.	表記
	1 월달에는 전교회일도 많기때문에 다시 바쁜 생활이 시작될것 같다.	名詞
50130	思ったけど、もうすぐ2年生です。	表現
	でも嫌でもやらなきゃいけないことなんていっぱいだし、頑張ろうってー。	取立
	韓國のソウル外国語学校から、修学旅行のついでに、国際高校に訪問してくれたあつ♪	格
	思った以上に楽しかったし、友だちもできてよかったです↑↑(´-`)b	表現
	今年ある修学旅行がすごく楽しみです♪♪	*動詞
	したら何年ぶりに韓国いくことになるんだろ？	接続詞
	영문법에 대해 지식이 하나도 없었는데, 지금은 많이 늘은것 같다.	活用
	전교회일이 역시 바빴던 이유의 대부분인 것 같다. 다음주도 다름없이 바쁠 것 같다.	名詞
50221	けれど、ここ何日間図書館に9時までいったり、学校でも放課後図書室へよったりなど自分 なりの努力をしている。	*終、格
	このテストが1年間の成績を決め付ける一番重要なものとなるから。	動詞、名詞
	ちゃんと計画を立ててから、これからはやらなきゃだどつくづくと思った。	表現
50302	벌써 내일 모래는… 시험 첫째 날이다..	表記
	빨리 시험 끝나서, 폭 쉬고, 놀고 학생회 일에 선뎀을 하고 싶다.	表記
	음… 요즘 한 일이 공부밖에 없어서 별로 쓸 일이 없으니 이만 줄이겠다.	形式名詞
50402	これじゃあだめだなと思って、少しあせって今日からはじめたのです。	形式名詞
	でも傲慢などはしないで、これからももっと頑張って、	動詞
50412	새로운 반은.. 그저 그런것 같다. ^ - ^;	表記
	그렇게 좋은 것도 아니고 나쁘지도 안고…	表記
	땡하지 >_<; 다 잊어버릴까봐 걱정이다.. - - ;;;	表記
	전교회임원은 오늘로 끝날 예정이었는데…	名詞、表記
	또 반년간 전교회 일을 하게 될것 같다. 떨어지면 끝이지만.. ㄱ 그럼 이만 줄이겠다!	名詞

(お茶の水女子大学)